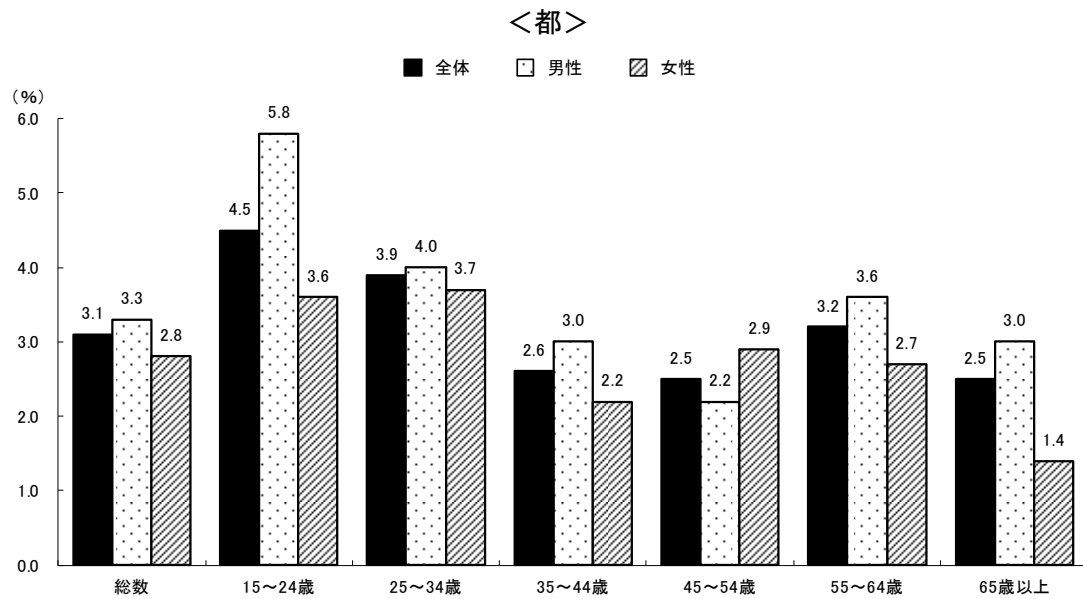


Ⅲ－３ 若年層への支援

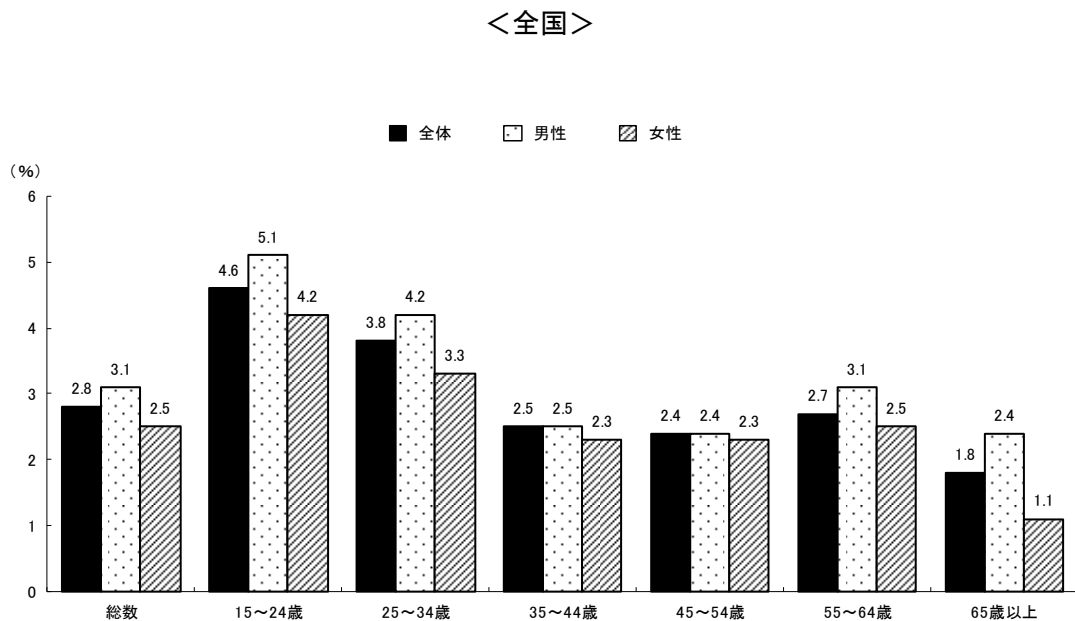
１．完全失業率

令和２（２０２０）年の都の完全失業率は、男性３．３％、女性２．８％で、全国よりやや高い水準である。女性よりも男性の方が高く年齢階級では１５～２４歳が最も高い。男性と女性との差は、都では１５～２４歳で、全国では６５歳以上で拡大する傾向がある。

図表Ⅲ－３－１ 性・年齢階級別完全失業率（都・全国）



資料：東京都総務局「東京都の労働力調査」（令和２年平均）

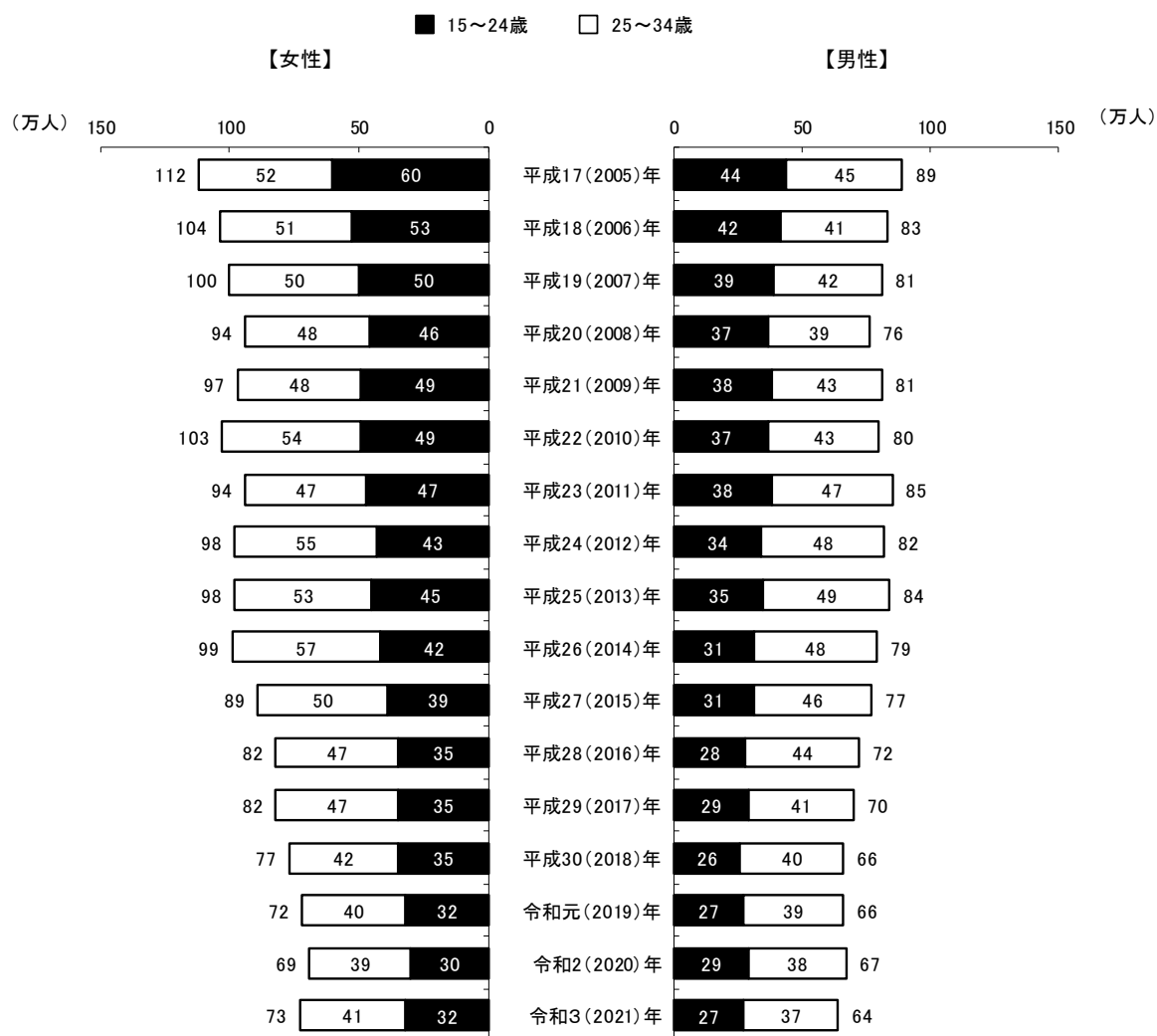


資料：総務省「労働力調査（基本集計）」（令和３年平均）

2. 年齢階級別フリーター数の推移

全国のフリーター数は、令和3（2021）年で男性64万人、女性73万人である。平成17（2005）年以降の推移をみると、若干のバラつきはあるが、男性、女性とも15～24歳を中心に緩やかな減少が続いている。

図表Ⅲ－３－２ 年齢階級別フリーター数の推移（全国）



注1：ここでの「フリーター」の人数は、若年層（15～34歳の男性（卒業者）、女性（卒業で未婚の者））のパート・アルバイト及びその希望者で、下記①～③の合計である。

①「パート・アルバイト」での雇用者

②完全失業者のうち探している仕事の形態が「パート・アルバイト」の者

③非労働力人口のうち希望する仕事の形態が「パート・アルバイト」で、家事も通学も就業内定もしていない「その他」の者

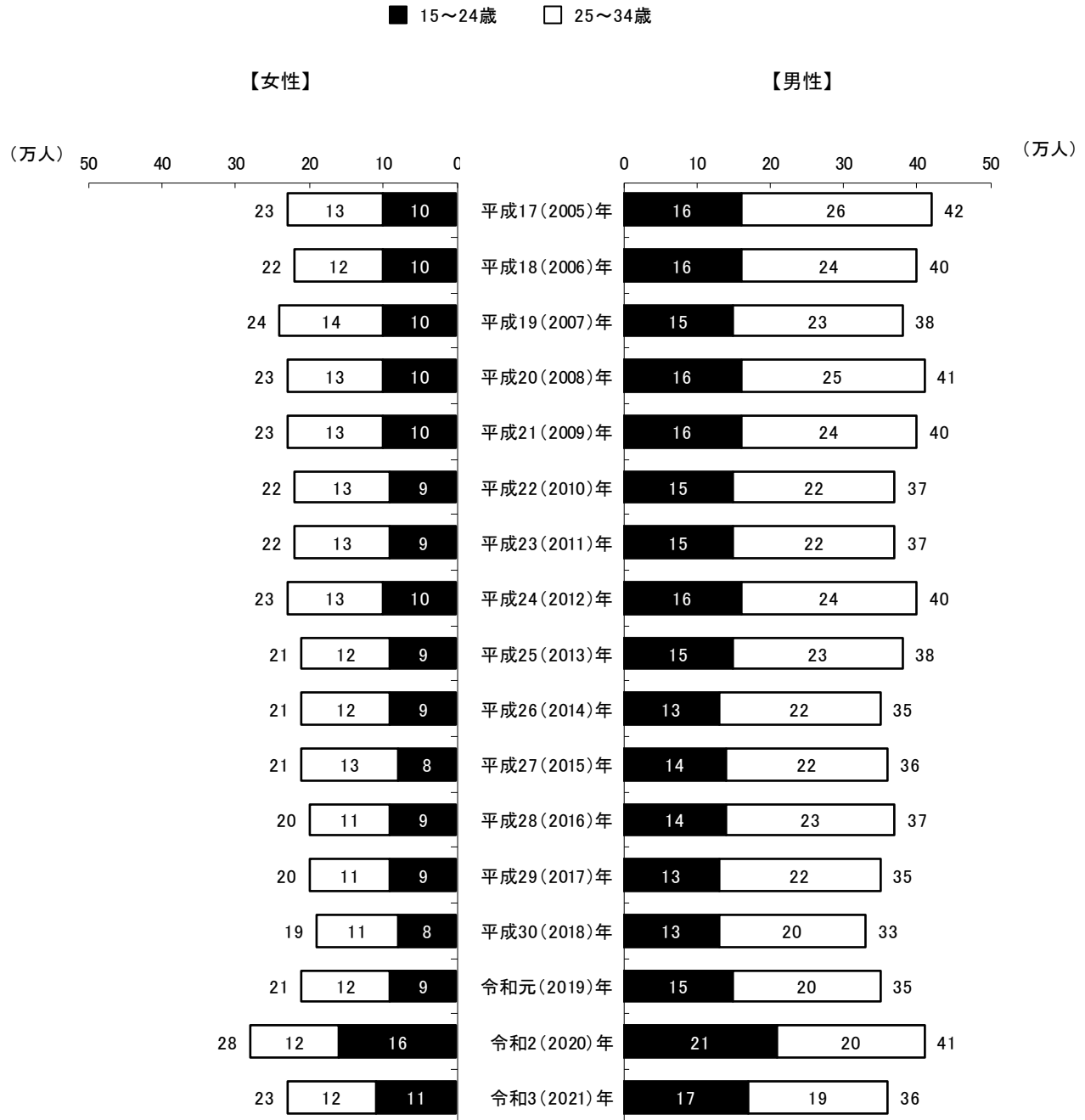
注2：平成23（2011）年は、岩手県、宮城県及び福島県を除く。

資料：総務省「労働力調査（詳細集計）」（令和3年平均）

3. 年齢階級別若年無業者数の推移

全国の若年無業者数は、令和3（2021）年で男性36万人、女性23万人である。男女とも平成24（2012）年以降はゆるやかな減少傾向にあり、令和元（2019）年から増加傾向に転じたが、令和3（2021）年で減少した。

図表Ⅲ－３－３ 年齢階級別若年無業者数の推移（全国）



注1：ここでいう「若年無業者」は、15～34歳の非労働力人口のうち、家事も通学もしていない者。

注2：平成23（2011）年は、岩手県、宮城県及び福島県を除く。

資料：総務省「労働力調査（基本集計）」（令和3年平均）